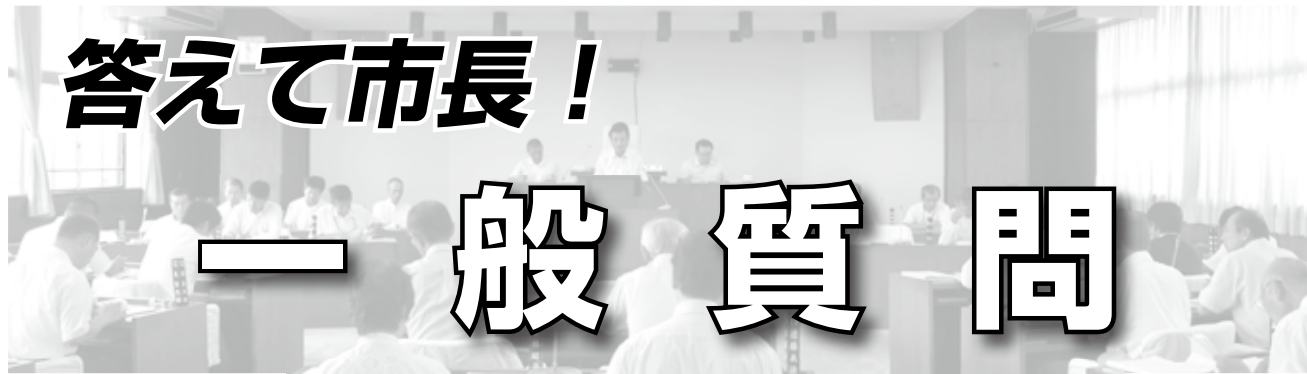


答えて市長！

一般質問



一般質問は、9月19日から21日の3日間にわたりに行われました。

質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できますが、9月定例会の会議録の提供は、12月上旬となります。

いじめ防止対策について

中嶋 通治

問 いじめの現状と取り組みについて。

答 教育長 平成24年度1学期に於いて小学校で2件、中学校で9件で全て解消している。問 地域や警察との連携について。

答 教育長 実際に暴力行為があった場合には保護者に被害届の提出の意思を確認し、警察等関係機関と連携をして指導する。

問 学校における障がい者に対するいじめの実態について。答 教育長 報告は受けていない。

い。問題がないよう指導助言をしている。

◆虐待防止について

問 児童に対する虐待相談件数と対応取り組みについて。

答 市長 子供を始め、高齢者等社会的弱者である人々に地域の方々の協力を得て取り組んでいく。

答 健康福祉部長 虐待相談件数は81件であり、「要保護児童対策地域協議会」を活用する。

問 高齢者に対する虐待相談件数と対応について。

答 健康福祉部長 8件の相談があり、状況を見極め介護保険サービスや成年後見制度を活用する。

吉川美南駅周辺など今後の吉川市のまちづくりについて

中村 喜一

問 駅周辺地区の整備は。

答 市長 第5次総合振興計画に基づき、吉川美南駅を中心に、各種都市機能を備えた、複合新拠点として市街地の形成をはかる。

問 東部・北部地域の活性化と地域インフラ整備は。

答 市長 水辺空間と緑豊かな地域となっている反面、地域インフラは道路が狭く未舗装道路も多い。他地域とのバランスを考慮しながら、幹線道路や生活道路、水路等に重点を置き整備を計画的に進める。

問 産業まちづくり地域に行政施策が必要と思うが。

答 市長 三輪野江と須賀・榎戸地区は、過去に土地区画整理事業が合意形成に至らなかった経緯がある。今後の開発は、行政がビジョンを示し、地域の合意形成や諸条件の整理が欠かせない。今後、地域住民の意向や社会経済情勢を勘案し慎重に対応を検討する。

問 農業集落排水のあり方は。

答 市長 農村集落を対象とした下水道事業だが、合併処理浄化槽が義務付けられたので、今後の整備は行わない方針。

通学路安全対策には迅速な対応と情報共有

降旗 聡

問 4月以降、市では教育委員会をはじめ関係部署が連携した「調整会議」を開き、協議を積み重ねてきました。さ

らには、学校や保護者、地域の協力を得ながら合同点検を行うなど、児童・生徒の登下校中の安全確保にむけて取り組んできました。以下2点について伺います。
①調整会議が果たした役割とその成果について。
②調整会議から対策委員会への移行について。

答 市長 ①学校や保護者をはじめ、バス・タクシートの事業者などから数多くの情報をいただいた。その情報を基に、関係職員により協議を行った結果、早期の対応が可能な箇所については速やかに改修を実施するとともに、補正予算を計上するなど迅速に対応ができた。

②対策委員会への移行については考えていないが、各学校やPTA、地域や警察など関係機関と連携を密にし、迅速な対応と情報の共有化を図りながら、引き続き子どもたちの安全確保に努めていく。

